



- 1 FM21ラジオ番組出演。浦添市の介護の取り組みをアピール!(亀)
- 2 セミナーに登壇(亀)
- 3 着任の挨拶(亀)
- 4 ドコモ社の支援メンバーと市長・原課職員の集合写真(松)
- 5 てだこまつりを盛り上げます(松)
- 6 浦添商業高校の認知症サポーター講座での寸劇で演じた認知症のオジー役(亀)

Q 仕事の進め方・課題

亀谷 私は自分のやりたい事をやるというよりも、人の話を聞いて、課題を聞き出しながらやっていきました。そうしていくうちに、「亀谷さんが来てくれてよかったです」と言われるようになつて、嬉しかったですね。

課題としては事業者同士の横の連携をもうちょっと強くしていく必要があるかなと感じています。

松岡 「もっとこうなつたら便利なのに」という市民の皆さんとの声や、職員のアイデアを形にすることが私の仕事です。特に、市民の皆さんにとって効果が大きいものから優先して取り組む

亀谷 市役所のサービスを、もっと便利に、もっと使いやすくする「カイゼン」を進めています。例えば、LINEで学校の欠席連絡ができたり、QRコードで児童センターに入れるようにしたり。皆さんの暮らしが少しでも快適になるような仕組みづくりに取り組んでいます。

松岡 市役所のサービスを、もっと便利に、もっと使いやすくする「カイゼン」を進めています。例えば、LINEで学校の欠席連絡ができたり、QRコードで児童センターに入れるようにしたり。皆さんの暮らしが少しでも快適になります。

Q 業務内容について

亀谷

介護人材に関する課題解決を主に担当しています。実際に介護事業所

に訪問してヒアリングやアンケートを取って課題を抽出して、その中でできることを提案したり、セミナーを組んだりなど、事業所の運営にさまざまな形で関わらせていただいています。また、市職員の皆さんの業務改善にも取り組んでいます。

亀谷 市役所のサービスを、もっと便利に、もっと使いやすくする「カイゼン」を進めています。例えば、LINEで学校の欠席連絡ができたり、QRコードで児童センターに入れるようにしたり。皆さんの暮らしが少しでも快適になります。

松岡 市役所のサービスを、もっと便利に、もっと使いやすくする「カイゼン」を進めています。例えば、LINEで学校の欠席連絡ができたり、QRコードで児童センターに入れるようにしたり。皆さんの暮らしが少しでも快適になります。

撮影地：浦添市役所中庭・亀谷さん(左)・松岡さん(右)



起業人交流で広がる浦添の輪

浦添市役所で働く起業人



浦添市民へのメッセージ

亀谷 いきいき高齢支援課のターゲットは介護事業所なのですが、個人としては市職員の皆さんに何を実現したいのかをよくお伺いして、提案するようになります。そうやって業務改善していく中で介護や浦添市の街づくりに繋がらるものがあつたらいのかなと思います。

松岡 いろいろなイベントに顔を出すようになっているので、お見かけの際は、声をかけられてよかったです。

Q 上司からのコメント/

小澤 係長 いきいき高齢支援課 介護給付係

介護人材不足や定着などをはじめ現場のさまざまな課題解決に向け、足を運び耳を傾け寄り添いながら、民間ならではの視点やノウハウを活かし、日々頑張ってもらっています。明るく親しみやすい人柄で職員からも慕われています。

我部 課長 行政改革推進課

彼のこれまでの知見と多角的な視点から、さまざまな課題整理を行い、浦添市LINE公式アカウントの新規メニューを随時追加するなど活躍してもらっています。引き続き、本課の職員として市民の皆さんへのサービス向上に貢献していただきたいと思います。

地域活性化起業人制度?

「地域活性化起業人制度」は、地域力の創造と地方の再生を目的として、都市圏に所在する企業などが、地方公共団体へ社員を一定期間(6か月以上3年以内の期間)派遣。

ノウハウや知見を生かして、地域独自の魅力や価値の向上などにつながる業務に従事することで、地域活性化を図ります。



＼浦添市役所で働く起業人の2人にインタビューしました／

亀谷 貴史さん
いきいき高齢支援課
出身地：埼玉県
2000年にアデコ株式会社に入社。
業務委託案件の立ち上げ・運営・業務改善に携わり、2021年以降は首都圏の自治体の業務委託案件を担当する部門にて運営管理を担う。
令和6年度から浦添市役所着任。

松岡 龍太さん
行政改革推進課
出身地：千葉県
2003年に株式会社NTTドコモに入社。
お客様のアフターサービス支援や、千葉市におけるスマートシティの実現に向けたプロジェクトなど、幅広い業務に携わる。
令和5年度から浦添市役所着任。